



ロザムンド・パイク主演 後見人の立場を悪用『パーフェクト・ケア』



アカデミー賞ノミネート、ゴールデングローブ賞主演女優のロザムンド・パイクが演じる傑作サスペンス

『007/ダイ・アナザー・デイ（2002年）』でボンドウーマンを務め、デヴィッド・フィンチャー『ゴーン・ガール（2014年）』の演技でアカデミー賞にノミネートされた英国女優ロザムンド・パイク。そんな彼女が最新作で2021年のゴールデングローブ賞（コメディ/ミュージカル部門）主演女優賞を受賞したのが、12月3日より全国公開となる『パーフェクト・ケア』です。法定後見人の立場を悪用するタフなヒロインを演じています。

©2020, BBP | Care A Lot, LLC. All rights reserved.

資産家の老女ジェニファー役に『ハンナとその姉妹』『ブロードウェイと銃弾』で二度アカデミー助演女優賞を受賞してるダイアン・ウィースト、『ゲーム・オブ・スロース』のティリオン・ラニスター役で知られるピーター・ディンクレイジがロシアンマフィアを迫力満点に演じています。

©2020, BBP | Care A Lot, LLC. All rights reserved.

あらすじ

法定後見人のマーラ（ロザムンド・パイク）は、判断力の衰えた高齢者を守り、ケアすることを生業にしている。常にたくさんの顧客を抱え、裁判所からの信頼も厚いマーラだが、実は医師やケアホームと結託し高齢者たちから資産を搾り取る悪徳後見人だった。

パートナーのフラン（エイザ・ゴンザレス）とともにすべては順風満帆に思えたが、新たに獲物として狙いを定めた資産家の老女ジェニファー（ダイアン・ウィースト）をめぐり、次々と不穏な出来事が発生し始める。

身寄りのないはずのジェニファーの背後にはなぜかロシアン・マフィア（ピーター・ディンクレイジ）の影が。迫りくる生命の危機、まさに絶体絶命、マーラの運命は果たして…

©2020, BBP | Care A Lot, LLC. All rights reserved.

あの歌姫にも！？

最近、アメリカのエンタメ界に君臨する歌姫・ブリトニー・スピアーズが、父親のジェイミーを成年後見人から外そうとしていると、ゴシップニュースで話題になりました。

ブリトニー自身の口から、過干渉ともいうべき（内容はかなり生々しいものでした）父親からの束縛が語られると、スピアーズが法定後見制度に苦しんでいることを知ったファンが「#FreeBritney」のスローガンを掲げ、裁判所前で抗議運動を展開するまで話が広がっています。流石は訴訟の国、アメリカらしいエピソードです。

『パーフェクト・ケア』の原題は『I Care a Lot』。監督のJ・ブレイクソンはまだ作品数は多くありませんが、サスペンス描写には定評のある監督です。今作は原題からも分かるように、程よいブラックユーモアを利かせた作品に仕上がっています。

ただの守銭奴、小悪党に見せない演技と演出

「人間を商品化して搾取する」という法の抜け穴をかいぐっている人間が実に多いことを知ったブレイクソンが脚本を執筆。ブレイクソンの監督デビュー作でもある『アリス・クリードの失踪』で組んだプロデューサーのデディ・シュワルツマンは脚本を一読しただけで、かなり気に入り、すぐに映画化に動き出したとのこと。

ブレイクソン監督がファンだったというロザムンド・パイクのもとにこの脚本が届くと、彼女もすぐに魅了され、出演を快諾しました。

主人公マーラについて、ロザムンド・パイクは「マーラは私がスクリーンで見たいと思っていた女性そのものだった。これまで男性にばかり許されてきた、残忍で野心的で、臆面もなく欲しいものを追い求める、そういうことが許される人物。彼女は勝ちにこだわっていて、お金を稼ぎたがっている。そして嫌われることに何の恐れも抱いていない。たしかに彼女は人に好かれたいタイプだけど、でも愛おしくなり、応援してしまう。」と熱く語るほどのほれ込みようです。

結果として、実績派（しかも熱意がある）俳優が揃ったことで、『パーフェクト・ケア』はただの不謹慎な映画ではなく、ニヤリとそしてドキリとさせられる映画に仕上がりました。

©2020, BBP I Care A Lot, LLC. All rights reserved.

間違ってもマーラのような後見人のお世話にはなりたくありませんが、気持ちとは裏腹に、どこかでその活躍(?)を見続けてみたいと思うのも、また事実です。

日本も他人事ではない

映画の終盤で介護ビジネスにまつわるやり取りがありますが、背筋が寒くなります。少子高齢化が進んでいる日本においても、高齢者を身内だけで支えることは無理な時代がやってくるでしょう。アメリカだから、映画だから、ということだけでこの映画をやり過ごすのは少し危険な気がします。

なお、本作の日本語吹き替え版は、劇場公開と同日の12/3（金）よりU-NEXTにて独占配信されるとのことです。

文：村松健太郎（映画文筆家）

<作品データ>『パーフェクト・ケア』原題・英題：I Care A Lot監督：J・ブレイクソン出演：ロザムンド・パイク、ピーター・ディンクレイジ、エイザ・ゴンザレス、ダイアン・ウィースト配給：KADOKAWA2020／英語／118分／シネスコ／カラー／5.1ch／原題：I Care A Lot／日本語字幕：牧野琴子12/3（金）～全国劇場【3週限定】公開&デジタル配信開始公式サイト <https://movies.kadokawa.co.jp/perfect-care/>

©2020, BBP I Care A Lot, LLC. All rights reserved